

第33回 炉内構造物等点検評価ガイドライン検討会 議事概要(案)

1. 日 時: 平成19年 12月 21日(金) 13:30~16:50

2. 場 所: 日本原電本店第3・4会議室(神田美土代ビル)

3. 出席者(順不同 敬称略):

委員:野本委員長(東大名誉教授), 関村副委員長(東大), 安藤(博)委員, 安藤(柱)委員(横国大), 辻川委員(東大名誉教授), 橋爪委員(東北大), 吉田幹事(関電), 堂崎幹事(原電), 石沢幹事代理(東電), 小林委員(北海道電), 肥田委員(中部電), 米田委員(北陸電), 野村委員(関西), 永田委員代理(中国電), 高木委員(四国電), 渡辺委員代理(九州電), 師尾委員(原電), 鞍本委員(電発), 小山委員(三菱重), 伊東委員(日立GE), 元良委員(東芝), 杉江委員(原技協)

参加者:山本・小山(JNES), 島・岡田(東電), 進藤(中部電), 木村(関電), 米澤(原電), 鬼塚・中野(三菱重), 馬淵(日立GE), 松永・笹山・中城(東芝)

事務局:関(原技協)

5. 議事概要

- (1) 前回議事録案が確認され、誤字修正し承認された。また、本日の代理委員等の紹介があった。
- (2) ガイドラインの発行・改訂状況と、その後の機械学会での維持規格策定状況、国の技術評価の動向について紹介があった。
- (3) 個別ガイドラインの上位概念にあたる「炉内構造物等点検評価ガイドラインについて」の資料構成案について、前回議論を踏まえた説明があり、検討を継続することとなった。
- (4) 封止溶接工法について、前回検討会でのコメントと修正案について説明があり、一部文章表現上の修正を行うことで、当該ガイドラインの発行が承認された。
- (5) 外面からの入熱による応力改善方法について、コメント対応とガイドライン案の説明があり、一部文章表現上の修正を行うことで当該ガイドライン発行が承認された。
- (6) ピーニング工法について、前回コメント対応による文章修正案他の全体説明があり、当該ガイドラインの発行が承認された。
- (7) 円筒形状構造物の未点検部位の取り扱い見直し結果を、炉心シュラウド、シュラウドサポートの各ガイドライン改訂に反映していく上での対応方針について説明があった。ガイドライン改訂案の次回発行承認に向け、継続検討することとなった。
- (8) 蒸気発生器入口管台溶接部での傷の確認について状況報告があった。原因調査の進展等をフォローしながら、管台セーフエンド異材継手ガイドライン等に反映することとした。
- (9) 中越沖地震被災後の柏崎刈羽発電所の炉内点検状況について報告があった。さらに地震後の炉内構造物点検方法など、本検討会での審議提案があり、次回以降検討することとなった。
- (10) 炉内点検評価ガイドラインの原技協 HP 掲載内容案について報告があった。発行承認後のガイドラインは、検討会議事概要等の関連情報と併せてHPより情報発信する。
- (11) その他、次回検討会開催日時は、3月頃を目途に別途調整する。

以上